

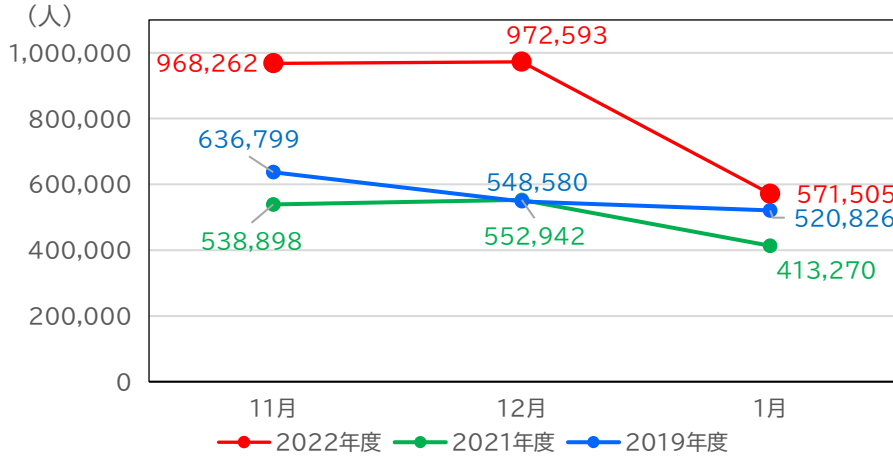
大分県観光予報観光動向レポート 12月号

対象都市	大分県	集計対象期間	2022年11月～2023年1月（3か月間）
比較対象都市	福岡県・長崎県・熊本県	比較対象年度	2021年度（前年）、2019年度（コロナ前）

大分県の宿泊動向

■宿泊者数の推移

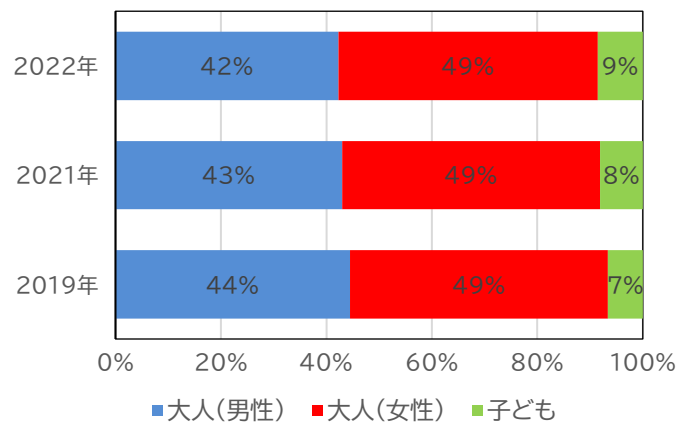
[2022年11月～2023年1月の宿泊者数（大分県 実績・予測）]



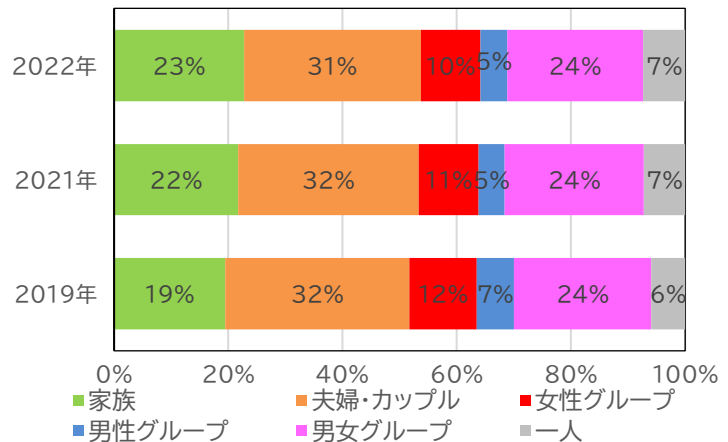
12月宿泊実績：972,593人
 (11月時点12月予測：661,591人)
 1月宿泊予測：571,505人
 (11月時点1月予測：207,824人)
 前年比（12月）
 76% 増
 2019年比（12月）※コロナ前
 77% 増

■宿泊者属性の動向

[大人・小人の別（12月）]



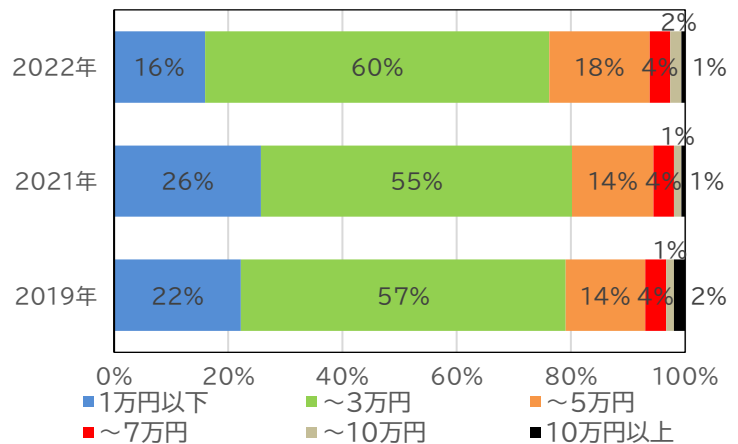
[同伴形態の別（12月）]



[当期宿泊者の居住地ランキング（12月）]

国内	順位	県名	人数	前年比	順位	県名	人数	前年比
国内	1位	福岡県	192,977	24%	6位	広島県	31,110	4%
	2位	大分県	90,798	12%	7位	山口県	28,953	4%
	3位	東京都	69,538	9%	8位	熊本県	27,780	4%
	4位	大阪府	41,580	5%	9位	兵庫県	27,463	3%
	5位	神奈川県	36,163	5%	10位	愛知県	23,763	3%

[一人あたり宿泊購入額（12月）]



[市町村別の宿泊者数ランキング（12月）]

市町村名	宿泊者数 (人)	前年比 (増加率)	2019年比 (増加率)	市町村名	宿泊者数 (人)	前年比 (増加率)	2019年比 (増加率)
1 別府市	557,205	98.1%	97.2%	10 国東市	1,891	128.7%	156.6%
2 由布市	233,882	40.9%	40.2%	11 宇佐市	1,606	165.9%	194.7%
3 大分市	91,048	82.7%	92.3%	12 豊後高田市	392	0.5%	13.0%
4 日田市	26,878	62.6%	70.5%	13 津久見市	371	67.9%	88.3%
5 日出町	18,529	45.9%	58.6%	14 臼杵市	309	37.9%	57.7%
6 九重町	16,713	131.0%	138.5%	15 杵築市	270	-71.2%	-67.8%
7 竹田市	11,521	53.4%	72.2%	16 豊後大野市	188	-32.6%	-23.0%
8 中津市	9,030	29.0%	43.7%	17 姫島村	-	-	-
9 佐伯市	2,760	91.5%	115.5%	18 玖珠町	-	-	-

考察

【大分県の宿泊動向】

・2022年12月の宿泊者数は、10月から全国を対象とした旅行支援が開始したことなどから前年比76%増、コロナ禍前の2019年比も77%増加となった。
 ・宿泊者の属性を見ると、12月は子供を含む家族の割合が多く、年末の家族旅行の需要が多いと考えられる。また、今年は旅行支援の影響などから高単価での宿泊が多い傾向にある。
 ・大分県宿泊者の居住地は、福岡県在住者が24%、大分県在住者が12%と引き続き多くを占めている。

出典：観光予報プラットフォーム

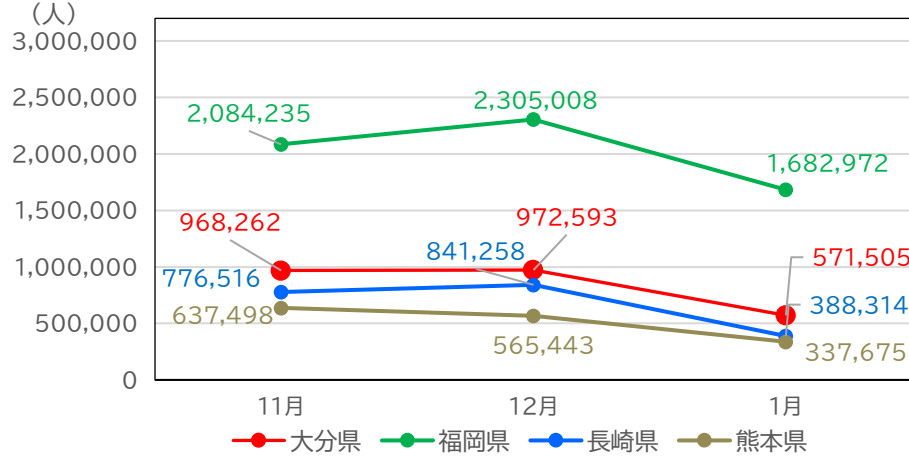
レポート発行日：2023/1/20(データ更新日：2023/1/19)

※2023年1月以降の数値は現在の予約状況及び過去の動向を踏まえた推計値です。予約数の増減に応じて随時値は変化します。また、2022年の実績値についてはキャンセル値を随時反映しているため、数値が変化する可能性があります。

比較対象都市との比較（10月～12月の宿泊動向）

■宿泊者数の推移の比較

[2022年11月～2023年1月の宿泊動向（隣県比較）]



【各県前年比（12月）】

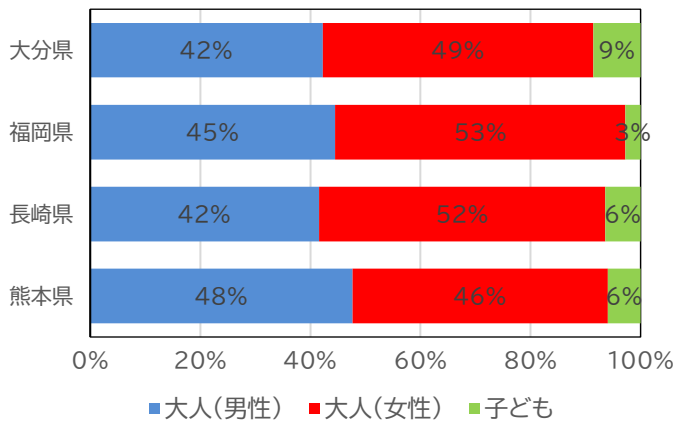
大分県： 76% 増
 福岡県： 63% 増
 長崎県： 36% 増
 熊本県： -5% 減

【各県2019年比（12月）】

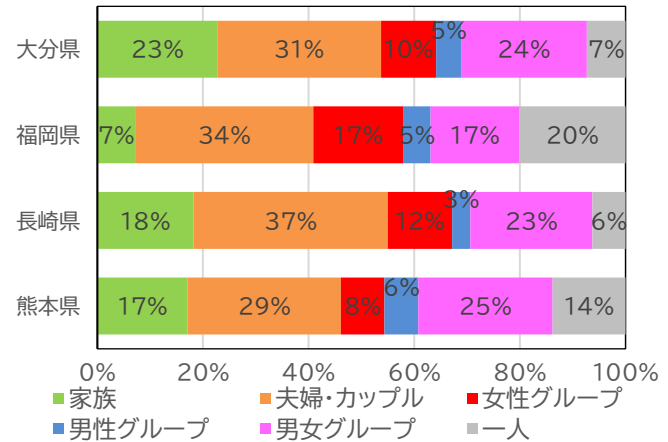
大分県： 77% 増
 福岡県： 76% 増
 長崎県： 54% 増
 熊本県： -6% 減

■宿泊者属性の動向比較

[大人・小人の別（12月）]



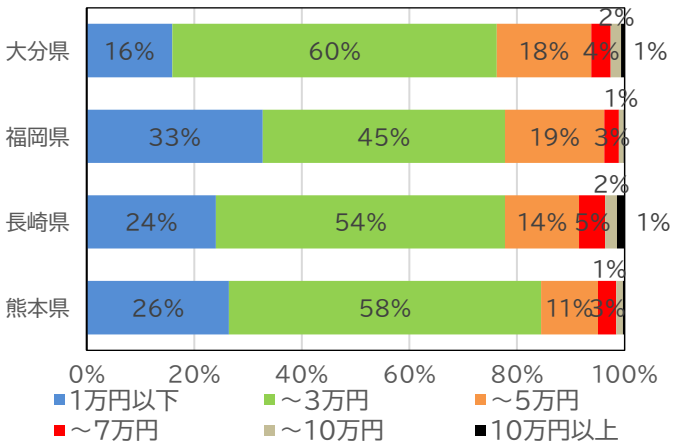
[同伴形態の別（12月）]



[各県宿泊者の居住地ランキング（12月）]

順位	大分県			福岡県		
	県	人数	割合	県	人数	割合
1位	福岡県	192,977	24%	東京都	230,398	13%
2位	大分県	90,798	12%	福岡県	195,438	11%
3位	東京都	69,538	9%	大阪府	145,421	8%
4位	大阪府	41,580	5%	神奈川県	115,836	6%
5位	神奈川県	36,163	5%	兵庫県	94,597	5%
順位	長崎県			熊本県		
	県	人数	割合	県	人数	割合
1位	福岡県	159,893	20%	福岡県	105,107	21%
2位	東京都	80,113	10%	熊本県	69,350	14%
3位	大阪府	58,879	7%	東京都	51,315	10%
4位	長崎県	50,073	6%	大阪府	30,221	6%
5位	神奈川県	48,528	6%	鹿児島県	29,668	6%

[一人あたり宿泊購入額（12月）]



考察

【比較対象都市の動向】

- ・比較対象都市の12月の宿泊者数の動向としては、10月11日より全国旅行支援の予約受付が開始したことなどから熊本県以外の各県は前年比、コロナ禍前の2019年比ともに増加となった。
- ・宿泊者の属性をみると、大分県は各県と比べても子供を含む家族での宿泊が多く、宿泊単価も1万円以上の割合が高い傾向にある。
- ・各県宿泊者の居住地としては、福岡県を除く大分県・長崎県・熊本県はいずれも福岡県からの宿泊者が一番多いが、全国旅行支援が開始となったことなどから各県ともに特に九州外の都市部からの宿泊者が多く、特に東京都、大阪府、神奈川県からの宿泊が各県とも多い傾向にある。